

東南アジア/マレーシアにおける段ボール原紙マシン増設のお知らせ

当社は、マレーシアのGS Paperboard & Packaging Sdn Bhd（以下、「GSPP社」）において、新たに段ボール原紙生産設備を増設することを本日決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 生産設備増設の目的

王子グループでは、経営戦略の基本方針として「海外事業の拡大」を掲げております。その中で、東南アジアにおける段ボール事業は、その堅調な需要に支えられ拡大を続けており、加工拠点は20カ所にのぼるまでとなりましたが、その加工原紙の大半はグループ外部から調達しており、段ボール原紙の自給率向上が課題となっています。また、近年の東南アジア市場では段ボール原紙の高品質化、低米坪化の要望が高まってきています。

今般、段ボール原紙の生産設備を増設することにより、これらの諸課題に対応し、さらなる事業拡大のための基盤整備を行うとともに、新たなマーケットシェアの獲得を目指してまいります。

また、原紙マシン増設と併せてエネルギー供給および用排水設備も更新することで、コスト競争力も向上させ、当社グループの事業基盤の強化を図ってまいります。

2. 新たに増設する生産設備の概要

設置場所	GSPP社 本社工場(セラゴール州)
生産品種	ライナー、中芯
生産量	年産45万トン
設備投資額	約350億円 (段ボール原紙マシン、エネルギー供給および用排水設備)
稼働開始予定	2021年4月

3. 今期の業績に与える影響

本件が、2018年3月期業績予想に与える影響はありません。

【本件に関するお問合せ先】

王子産業資材マネジメント(株) 取締役 海外事業推進部長 長谷部明夫 (TEL : 03-5550-3064)